会 議 録

名 称	平成28年度 目黒区廃棄物減量等推進審議会(第1回)
日時	平成28年後 日 点 区
会場	日黒区総合庁舎本館1階 E会議室
出席委員	安井、庄司、平尾、小林(か)、川原、松嶋、西崎、亀甲、藤橋、小林(雅)、角田、
(敬称略)	斎藤、清水、平田、大越
区側職員	村田環境清掃部長、織田清掃リサイクル課長、石田環境保全課長、伊藤清掃事務所長
傍聴者	1名
配布資料	・資料 1 · 1 目黒区分別収集計画(第 8 期)(案)の概要
	・資料1-2 目黒区分別収集計画(第8期:平成29年から33年度)(案)
	・資料2 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定後の普及啓発について(案)
会議次第	1. 開会
	20人中、出席者は15人であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、
	会は成立する。
	2. 区側出席者の紹介
	3. 議題
	以下、発言者名・名称は下記のとおり表記する。
	環境清掃部長・・・・・・・・・・部長
	清掃リサイクル課長・・・・・・・リ課長
	清掃事務所長・・・・・・・・・事務所長
	環境保全課長・・・・・・・・・・環課長
	(1) 目黒区分別収集計画(第8期)(案)について
	リ課長 (資料1-1~1-2に基づいて説明)
	委員 P2排出量の見込みとP4回収見込み量について、分別度が分かりやすく、全
	体のごみ量と容器包装のごみ量が一目で分かる一覧で表にすると、分かりやすい と思うが。
	す 味文 事務 周としましても、そういろた祝点で、元はこの回収率など、いろいろ) タはとってあります。しかしながら、この資料に反映できなかったのは先ほどご
	説明したように、国から計画書の様式が示されておりまして、それ以外の記載が
	非常に難しいところです。今後そういった分析も含めて、一廃計画を進めるとき
	に、必要に応じて紹介できるように、事務局でも整理をしていきたいと思います。
	ご意見、どうもありがとうございました。
	委員 P3の2Rは、どのように具体化するのか。P1 との整合性はあるのか。
	NHKの番組で、リユースでなく、リダクションという言葉を使っていたが、そ
	ういう言葉もあるのか。

会 長 リデュースは動詞形で、リダクションはその名詞形。

リ課長 先ず2RのところP3の上段、(3)「3R(発生抑制・再使用)」とあるところと、多分ご指摘されたのがその前の1P目の2番基本的方向のマルポチの3つ目「生産消費廃棄の各段階」以降のところの記載のところかと思いますが、2Rのところは、こちらの計画の中に、今まで審議いただいた一廃計画の施策の体系をそのまま記載してあります。

2Rは、新しい一廃計画の中で重点的に取り組んでいくという趣旨で、こちらに抜き出して書いています。 P1 の所は、それを含めた①②③が 3R。 それにプラスして④の熱回収や、⑤の適正処分といった清掃工場等で行うプロセスも含めています。

これは、廃棄物の一連の処理についての国の考え方を載せています。この中で、 優先順位の高い発生抑制と再使用、いわゆるリデュースとリユースについて、区 として一廃計画の中で、重点的に取り組むという位置づけになっています。

そしてリダクションという言葉もありましたが、3Rの言葉についてはいろいろなご意見が巷にあります。取り組みイメージも様々です。この中で国が考え方として示しているリデュース、リユース、リサイクルが、一般的かなというところで、我々もそういった解釈をしています。

そして、ここが一番大事なところですが、拡大生産者責任の原則に基づき、一 廃計画策定の中で皆様のご意見も伺いながら、国への要望事項ということで区か らも声をあげてきました。

区だけでなく、他の自治体等との連携の中で、制度改正または法改正を含めた この事業者責任の明確化、費用負担の制度化、そういった整理をするようにと、 要望を今まで毎年出してきていますが、それを踏まえた記載になっています。

- 季 員 P1の策定の意義のところで、第8期については先に改定した一廃計画に準拠する部分が多いということなので、2Rというところをもっと強調した方が良いのではないか。
- リ課長 ご指摘ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。 区の一廃計画の考え方や姿勢をアピールする意味でも、記載を工夫して、今後の 検討の中で記載していきたいと思います。どうもありがとうございます。
- 委員 目黒区民が一生懸命分別しているのに、分別されてない他区の容器包装も含まれたごみが入ってくるのは、区民として複雑な思いがしているので、今後も目黒区の立場でアピールして欲しい。もう一点はP3の(5)のところの個別収集は、ごみ排出量の抑制に有効なのではないか。
- リ課長 2件のご意見は、委員の皆様方、事務局含めて同じ思いを持ち、一廃計画の記載にも反映しています。分別方法については、自治体ごとに差があります。ただ目指すところを法の趣旨に鑑みれば、可能な限り分別収集をして、ごみを減らして資源化するところは同一であると思います。ただ法律で規定している部分とそうでない部分があります。

この計画策定の中で、目黒区と同様に他自治体も国に対して提出し、その結果が明らかにされると思いますので、その中で目黒区の取り組みが進んでいる、そして実効性があるというところについて、ご理解いただければと考えています。

また P3 (5) についてのご指摘については、一廃計画を進めていく中で、政策 としてどういったものが有効であるか検討しながら、具体化できるものを、皆様 に紹介していきたいと考えています。

委員 今のに関連して、P3(5)番の戸別収集の検討についてだが、近所に戸別収集が多い。かなり大きなごみ容器を使用しており、蓋を開け中を取り出さなくてはならず、収集作業に非常に手間がかかっているのが見受けられる。

集積所を使用しないで、家の前に出している人は、電話などで了承を得ているのか。手間を省くためにも、ビニール袋での排出を指導した方がいいのではないか。

事務所長 今のご意見につきまして、説明をさせていただきます。目黒区におきましては 基本、戸別収集はしておりませんが、例えば高齢者や障害をお持ちの方のみの世帯で集積所までごみを持っていくのが非常に困難な場合、また区の事情でございますが、目黒の場合には非常に狭い道もございまして、通常の2 t 車がなかなか入りきれないような狭い路地の場合には、お申し出によりご相談、現場確認、を行った上で戸別収集を行う場合があります。

それ以外は集積所にごみを排出していただくようにお願いしているところで ございます。

またごみの容器の関係でございますが、現状では、ふた付きの容器、又は中身の見える袋で出してくださいということをHPでもお願いしているところでございます。ごみ容器で排出される場合、たしかに職員は手間はかかるかもしれませんが、たとえば夏場には臭いが出て困るとか、そういったことをお感じになって容器で出していらっしゃる方もおいでだと思います。容器で出される場合、例えば道の真ん中に置いて、通行の邪魔にならないとか、そういったものを守っていただけるように、必要があればお声掛けをさせていただきながら収集作業を進めていけたらなと思っています。

委員 ひな形の回答をいただいたが、近所の人はそういった事例に該当しない。 狭い道路にも、出している。指導するべきである。

事務所長 集積所をたとえば分散とか、そういったことはご相談の上でやってございます。実際のところなんですが、例えば広い敷地のところが、分割されて戸別の建売などができたとか、ご高齢になって、集積所の管理が難しくなってきたですとか、様々な事情で、2-3 世帯で1か所の集積所を設けさせていただく場合もあります。いずれにしましても、お家の前に置いてあるから、私どもがそれを全部取るということではございませんので、何らかのご事情等、伺った上で判断させていただくというところで、ご理解していただければと思います。

委員 実態は決してそうではない。私は集積所を使用し、掃除もしているが、近所で

は、健康で余暇も十分楽しんでいるような人たちが沢山、家の前に出している。 戸別収集の定義が本当ならば、きちんと対応すべきだと思う。

- 事務所長 個別の事例についてはよろしければ後程お伺いして、事務所の方で必要な対応をさせていただきたいと思います。私どもとしましては、原則のルールがあって、それを守っていただきたいということで、区民の皆様にはお願いをしております。ただ、いろいろな事情で暫定的に柔軟な対応をしている場合がありますが、それがそのままで良いと、皆様にお知らせしているわけではございません。ご相談いただきながら、一つ一つ丁寧に対応しております。
- 会 長 行政はできるだけ柔軟な方がいいが、住民側にも責任が必要。 この両立が重要だと思う。次の質問へ。
- 委員 説明済みかもしれないが、P4の表下段。「その他プラ」の回収見込み量について、5年間で20%削減の見込みとなっている。計算の根拠を知りたい。 外のものに比べて「その他プラ」だけが減る理由を伺いたい。
- リ課長 ご指摘の部分は、数字が大きく動いているので、気になる点かと思います。これは政策的な減少を見込んでいるものではなく、隣のP5にあるように、過去数年間の実績と、ごみの中の含有量、そして将来の人口推計、こういったもののトレンドで掛け合わせたものとなっています。この実績については、運用の中で、今後変動があると思っています。
- 委 員 ガラス容器が減少傾向であるので、プラスティックにも減少効果が出てきてほ しい。
- リ課長 一点補足いたします。我々が調べている中で、プラスティック容器包装は、例 えば民間企業が、材質を薄くして重量を減らすという努力を行い、その品目が多 種・多岐に広がっています。そういったことも全部含めた現状のトレンドがある かと思います。
- 委員 P4表下段使用実績の箇所。この容器包装廃棄物の占める割合の説明について、P1で「全国で家庭のごみの約6割が容器包装」とあり、容積比の説明があるが、重量で表示されている。容積比が約6割で、トン数も6割だと、容積比と重量は約2割となっているのか?次に、目黒区27年度の実績、定かではないが約63%になると聞いた。仮に63%だとすると、他の22区に対して目黒の実績率はどれくらいか?3点目は、高い実績率を持つ区があれば、どのような工夫をしているのか?
- リ課長 4 Pの実績のところですが、例えば 33 年度の「主としてプラスティック製の容器包装」は 1155 t。回収見込み量の合計が 10927 t。そして前の 2 ページ目、 33 年度の 16246 t、これを排出量とすると、現状 67%ほどの回収量を見込むものとなっています。

資料としては記載ありませんが、27 年度の実績は速報値ベースで 63%の回収量が見込まれています。これを踏まえた実績の見込みとして、回収量が年々上がっていっているので、このような推計になります。

他区の実績は詳細把握していないため、目黒区の位置づけが何番目とか、一番 やっている区がどこかについては、手元の資料ではございません。

ただし、プラスティック製容器 1155 t というのが、全体の見込みの中で約 10% を占めていることから、当然容器包装プラスティックの分別回収を実施していない区は、その分回収量が減るということかと思います。23 区の中で目黒区と同様な容器包装プラスティックの分別回収を実施している区は、12 区あると把握しています。

このように、この資料は過去実績のトレンドに基づくものとなっています。 7 期計画との対比を見ても、「主として段ボール製の容器」の回収実績が増えていることから、古紙の分別等の実績も向上しているのかなと考えています。

- 会 長 私見であるが、12 区が行っているプラの回収で、上位なのは港区かと思う。 最近の情報は分からないが、港区は資金が潤沢であるので、ともかくプラを出せ ば容器包装分は区で引き出すとの考え方で行っている。
- 委員 法律上、再度容器包装に分け直しが必要となるので、非常な手間とコストがかかる。
- 会 長 コストがかかることは、雇用を生み出すことでもある。現状では贅沢ともいえないが。
- 委員 ここでいう率は、容器包装分だけ取り出した製品プラは入らない。港区が上位 の件とは別なんです。

(2)目黒区一般廃棄物処理基本計画改定後の普及啓発について(案)

リ課長 (資料2に基づいて説明)

- 委員 意欲的でいいと思うが、「MGR100」は読めば分かるが、「100」の後にグラムの「g」をつけた方が伝わりやすいのではないか?
- リ課長 ここは特にルールはありませんので、本審議会で委員の皆様の活発なご意見を 伺いたいと考えています。

補足ですが、「MG R 100」は、みなさんご存知の、「A K B 48」と同じ発想の イメージです。タレントの DAIGO さんも言葉を頭文字のアルファベットだけで 話すなど、今非常に浸透しています。

ポイントは、聞いてもすぐ意味が分からない、一部は予想できるけど、分からないから関心を持ってしまう。その仕掛けが受けているそうなんです。事務局でも検討に当たって、広告代理店などに相談に行ったりとか、いろいろなことをやっています。そこでも、これは好感触であったため、案として作ってみました。皆様のご意見を伺った上で、参考としたいと考えています。

委員「MGR100g」でも、通常「何だろう?」と思う人は沢山いると思う。

リ課長 そうですね。とにかく「何だろう?」と思って、横の説明書きを見るとか、「何だろう?」と思って、区のHPに載っているのかな、広報に載っているのかなと見ていただいたり、電話していただいたりとか、そこから先に繋がるのがいいか

なと考えています。

会 長 好みの問題なので、一任したいと思う。

委員 とてもよくできていると実感している。

「100」で分かり辛いと意見があったが、「何かな?」と思わせることが着眼点であると思う。これは配布の予定か?配布するなら、右上の四角内の「MGR100」はもっと強調した方がいい。赤の大文字などを使用するのも効果的だと思う。

リ課長 皆様の感性で様々なご意見をいただくのが本当にありがたく思っています。これはまだ、スタッフの手作りです。今後、印刷業者と相談し、ご指摘があった内容を伝えて、より効果的な目立つものを作っていきます。

委員 動画の応募は、DVDで提出ということか?そこから審査となるのか?本当は もっと興味を持ってもらうという意味では、Youtubeのチャンネルの設置等の方 が、気軽で一番広がりが出るのではないかと思う。こちらで決めるのではなく、 興味をもって投稿してもらうことが肝要であると思うが、見解を伺いたい。

リ課長 この挿絵にも Youtube と書いてあるように、まさに我々もそれがやりたいなと 強く思っています。 CDとか、DVDRとかだけではなく、Youtube に公開した もののリンクを送っていただいて、ご本人の確認できれば、それを紹介するということも、検討案の一つとして考えています。

ただ、本人確認がしっかりできるのかとか、区の HP のシステムや情報管理の 課題などもあります。

今回、審議会委員の皆様のご意見を伺い、今後、広がる展開にしたいと考えています。ご指摘については、我々も未来の絵姿として、非常に夢を持って取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

委員 自分もほぼ同意見である。若年層は動画を見るチャンスが多い。

事務局が優劣を決めるというのも一つの方法だが、アクセス数で優劣を決めるというのも一案。違う観点を持つ区民も大勢いると思う。

動画は、かなりいじることが可能。例えば「私の家では猫も分別をやっている」等、結構簡単に作れる。そういうのを出すと、みなが面白がって見るのではないか。"おもしろい"が出発点というのもいい。アクセス数を参考にするというのも非常にいいと思う。

リ課長 ありがとうございます。非常に参考になります。猫のアイディアも素晴らしい ですし、是非色々な形で参加できるというイメージを持っていただきたい。

区民の皆様だけでなく、事業者の方々も自分たちの宣伝として投稿してみようかというように、手軽さとメリットを感じていただけるよう、宣伝したいと思っています。委員の皆様も、匿名でも結構ですので、ドンドン応募いただきたいと思います。

これをきっかけに、例えばマスコミが注目してくれて、区民の皆様が「あれ面白いな」と口コミで広がって、広がれば広がるほど、その先にですね、あれYoutube の上位に入ってるよとか、そのアクセス数でいいものを選ぼうとか、次

の展開につながればいいなと思います。

最初が大事なんですね。ごみを減らすというテーマだけをイメージしたときに、どれだけの人が応募してくれるのか。先ずは数を増やすこと、増やした後に仕立てを工夫していくこと、そういう手順を踏む中でですね、今のようなご意見を将来像と見据えながら、現実問題としてどこまでできるのか、どれだけの数を応募していただけるのか、そこもちょっと検討していきたいと思いますので、参考とさせていただきます。ありがとうございました。

委員 そういった応募の形にするなら、エコ応援グッズは必要ない。

景品をほしいとは思わないのではないか。審査も必要ない。こういったものを審査することは難しい。

委員 景品は必要だと思う。

リ課長 景品なしで募集したいなという思いもあります。

区民の皆様を始めですね、本当に熱い思を持ってごみを減らそう、資源を生か していこうという風にお考えの方がいらっしゃるんですが、やはり一廃計画を作 る上でもいろいろなご意見がございました。

今までごみ減量に目を向けてこなかった方々にも、様々な理由があります。 興味がない、または仕事が忙しくてそんな余裕がない、そういった方々に少しで も目を向けていただくような視点が必要かと思います。

そのため、純粋で新しいものに取り組んでみようと意欲のある子供たちなどの層を中心に家庭を巻き込んだり、実は動画は好きなんだけど、ごみの分別には全く興味がないという若い人が、「手軽に撮れるから、送ってみようか」と思ったり、そういう今まで目を向けていただけなかった方々に少しでもアピールするという趣旨で、今回トライアルしたいと思っています。

委 員 チラシにパソコンが出てるが、今はスマートフォンを載せた方がいいのでは? リ課長 分かりにくくて申し訳ありません。(チラシの)上がスマートフォン、下がタ ブレットのイメージです。

会 長 他に何か?それでは、「雑がみ」について提議したい。

どこまで雑がみとするかを迷うところだか、普通の紙ならば名刺サイズまでと記載されているが、明確にしたいのが、最近の素材。一例だが、これは何でできているかご存知だろうか?

委員「銀プラ」と言っているプラスティックでは?

会 長 実は紙素材。

会 長 容器包装上は紙の表示がある。中の包装紙も同様で、紙にアルミコーティングがされている。パックを開くと、名刺大になるので、雑がみに相当するが、分別が非常に煩雑になる。容器包装の審議会に出ている委員に確認したいが、リサイクルは環境負荷を下げるめと CPR のための二視点あるが、CPR 上はこの分別はやるべきかどうか。

また、窓空き封筒の窓部分のペーパー部分が 2 種類あって、グラシンペーパー

はそのまま雑がみで出せるが、一方のスチレンは分別が必要となる。窓部分以外 を分別すべきか、そのままごみとして処理するかいつも悩んでいる状況。

委 員 みんな雑がみを知らない。分別方法が分かっていない。窓枠部分はプラステックにいれていた。

会 長 一応プラなら、容器リサイクルでいいのか?

委員 品川運輸を見学したときは手作業で分別していた。

結論として、とりあえずなんでもプラに入れてみようということになった。 洗濯屋のものも…

会 長 あれは容りではない。

委員 取りあえずプラに入れようとなったが、スチレンとは知らなかった。 雑がみについて、もっと分かるよう、周知してもらいたい。

会 長 MGR100 に雑がみ博士というのを誰か作ってくださいよ。

リ課長 雑がみに皆様関心をもっていただいて、ありがたいと思うと同時に、自分自身 が雑紙かどうか理解できていない部分があることも気づかされました。

一廃計画の中でも 1P 丸ごと使ってコラムを出させていただいて「雑がみって何なのか?」そして雑がみとして出せなものの事例も記載しています。

それで大変関心を持っていただけますし、日々の中で実は積み上げで、かなり ごみの量を減らせるものでもあります。チラシに書き込めるスペースは非常に限 られているので、例えば会長ご指摘があったように、別の画面で細かくご説明で きないかなと、もっといいますと、この動画をうまく使いたいなと思っています。

動画の一つに、「雑がみって何?」って、これは雑がみ、これは雑がみじゃないって、ちょっとコント形式で面白い風に書いたり、演じてもらったりとか、またそういう投稿をしてもらったりとか、雑がみがわからなければ、この動画のリンク見てもらえばわかりますよとか、そんな使い方もあるかなと思っています。

そういった事例が積み重なれば、リーフレットのような形で整理するという可能性もあると思います。雑がみだけでなく、ごみ減量のノウハウがわからないという声が非常に多いので、この HP 見れば全部載ってるよというくらいにしたいと思います。また、文字を全部追うのが大変だという方にも、パッと見てわかるように、このような動画集みたいな蓄積が出来ればと思っています。非常に我々としてはありがたいご意見ですので、今後工夫をしていきたいと思います。

リ課長事務局から一点資料について補足いたします。

皆様のお手元に、普及啓発のための資料をいくつかお配りしています。「資源と ごみの出し方分け方」のパンフレットは前回もご紹介していますが、計画改定を 踏まえ、増ページをしています。計画目標であるとか、取り組みの内容、目黒区 のごみの回収のコラムなど大幅に追加して紹介する形にしています。

また、従来から好評な若者向けライフスタイル、プラス 3R のエコ、そしてイベントなどで使うごみを集める清掃車のペーパークラフト等、こういったところを今年度も活用して参りたいと思いますが、今回新しいグッズも追加しておりま

して、下敷きが中に入っていると思います。「資源はゴミじゃない」と書いてある下敷きなんですが、今年度全く新しく、事務局のスタッフが作ってくれまして、小学校とか中学校、特に4年生が環境学習を受ける対象になっていますので、そちらをターゲットにしています。環境学習を受けた方々に、こういったものを活用して、ごみ減量に対する意識啓発を図っていこうと、そして継続的に使っていただけるということで、今回下敷きを選んでみました。このように新しいツールも活用しながら進めていきたいと思いますので、ご承知おき願います。

委員「分け方出し方」は全家庭配布か?

リ課長 転入者の方や要請があればお渡ししています。

会 長 その他何かありますか。

委員 その他議題ではないが、4月からの目黒区の水銀の回収は、消費者団体から大 絶賛された。

会 長 他区はやってないのか。

委員はい。どうやるのか、どこも動いてないと、みな言っている。

目黒区の迅速な対応に感謝している。ところで、「分け方出し方」のパンフはす ごくよくできているので、全戸配布してほしい。

今回のことで、目黒は非常に評判がいい。

会 長 これで第一回の審議会を閉会します。本年度もよろしくお願いいたします。

2. 閉会

以 上